

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

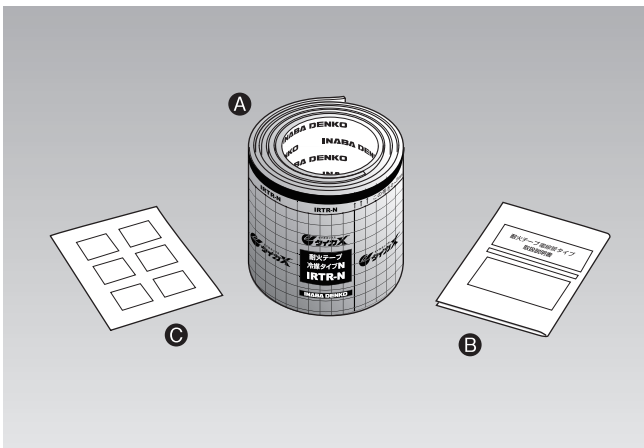
■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

<b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
<b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

<b>警告</b>	<p>国土交通大臣認定書の仕様に基づき正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書については、右記のQRを確認してください。</p>	<p>国土交通大臣認定書</p>
<b>注意</b>	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	
<b>お願い</b>	<p>※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 右記のQRより適用範囲概要を確認してください。</li> <li>● 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。</li> <li>● 配管サイズ選定の際には、貫通孔径および占積率を共に満たすことを確認してください。</li> <li>● 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。不十分な場合は、耐火テープにズレが生じて耐火性能が発揮できません。</li> </ul>	<p>適用範囲概要</p>

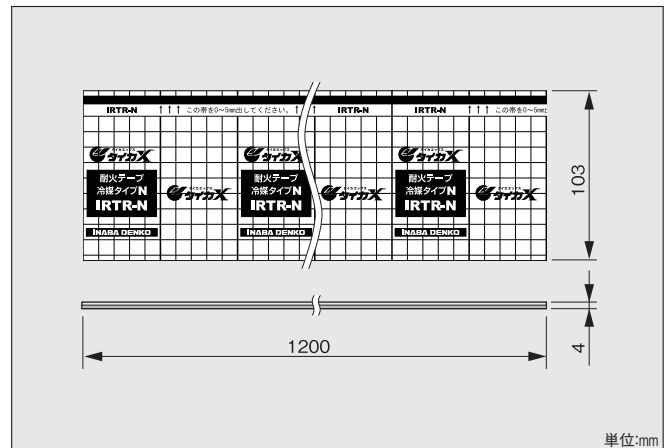
2.仕様



■ セット内容

記号	部品名	数量
A	耐火テープ冷媒タイプN IRTR-N	1
B	取扱説明書	1
C	国土交通大臣認定品表示シール	1シート(6枚)

(注)CはBに添付。



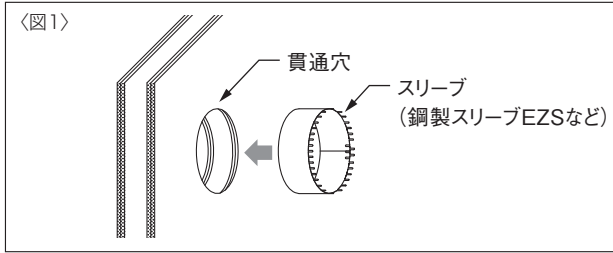
■ 寸法表

型番	適合貫通穴呼び径(穴径)	寸法(mm)
IRTR-N	φ175以下	103W×4t×1200L

### 3. 壁 施工手順

#### 1. 貫通穴を設ける

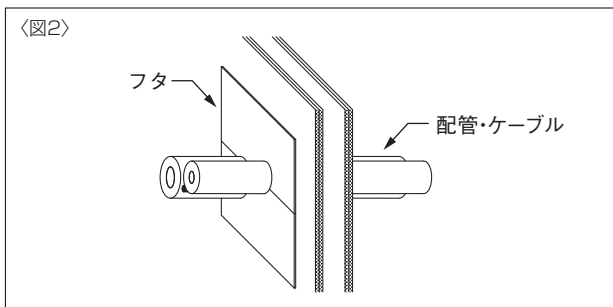
最大開口径を考慮し貫通穴を開けます。中空壁の場合は、厚さ0.25mm以上の金属スリーブ(弊社製品「鋼製スリーブEZS」など)または金属板を挿入してください。〈図1〉



Ⓜ RC、ALCの場合、スリーブは不要です。

#### 2. 配管・ケーブルの設置

配管・ケーブルを設置し、必要に応じて裏面にフタを設置します。(ロックウールを充てんした場合は基本的に必要) 〈図2〉



##### フタの寸法および種類

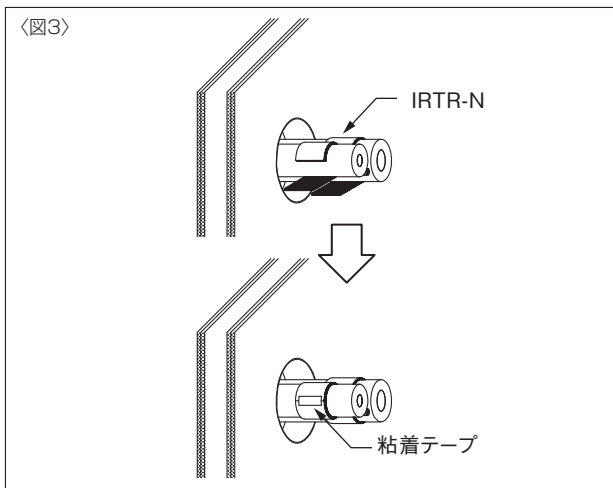
1. 寸法：400 × 400 × 3 (mm) 以下

2. 種類：

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1) ポリエチレン系樹脂            | 9) クロムめっき鋼板        |
| 2) アクリル系樹脂              | 10) 粘着材付きアルミニウムはく張 |
| 3) シリコン系樹脂              | ポリエチレンフォーム         |
| 4) 塩化ビニル系樹脂             | 11) 鉄              |
| 5) ポリオレフィン系樹脂           | 12) アルミニウム         |
| 6) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板          | 13) アルミニウム合金       |
| 7) 熔融亜鉛めっき鋼板            | 14) 銅              |
| 8) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 | 15) ステンレス鋼         |

#### 3. 耐火テープ冷媒タイプN IRTR-N (以下、IRTR-Nと称す) の巻き付け

各配管・ケーブルにIRTR-Nを一周以上巻き付け(突合せでも、オーバーラップでも可)、粘着テープで固定します。この際ケーブルは配管と共巻きすることができます。〈図3〉



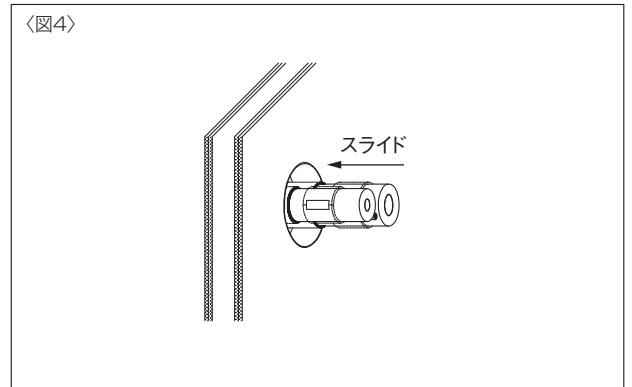
##### 粘着テープ種類

1. 寸法：幅98mm以下、厚さ0.4mm以下

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 2. 種類： 1) 包装用ポリプロピレン粘着テープ | 5) 包装用布粘着テープ         |
| 2) セロハン粘着テープ              | 6) 包装用ポリ塩化ビニル粘着テープ   |
| 3) 紙粘着テープ                 | 7) 電気絶縁用ポリ塩化ビニル粘着テープ |
| 4) 電気絶縁用ポリエステル粘着テープ       | 8) 防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ   |

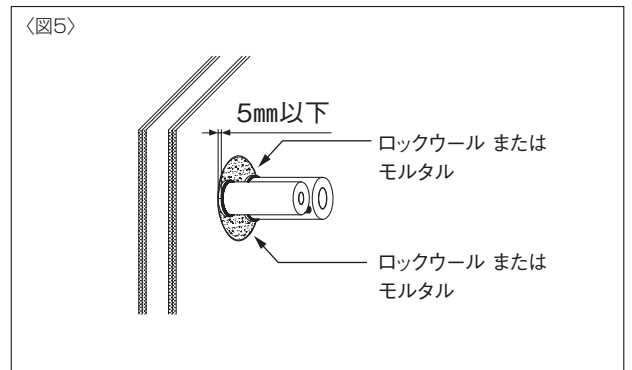
#### 4. IRTR-Nの設置

IRTR-Nの施工確認用帯がみえるように壁面から5mm以下飛び出すようにスライドさせます。〈図4〉



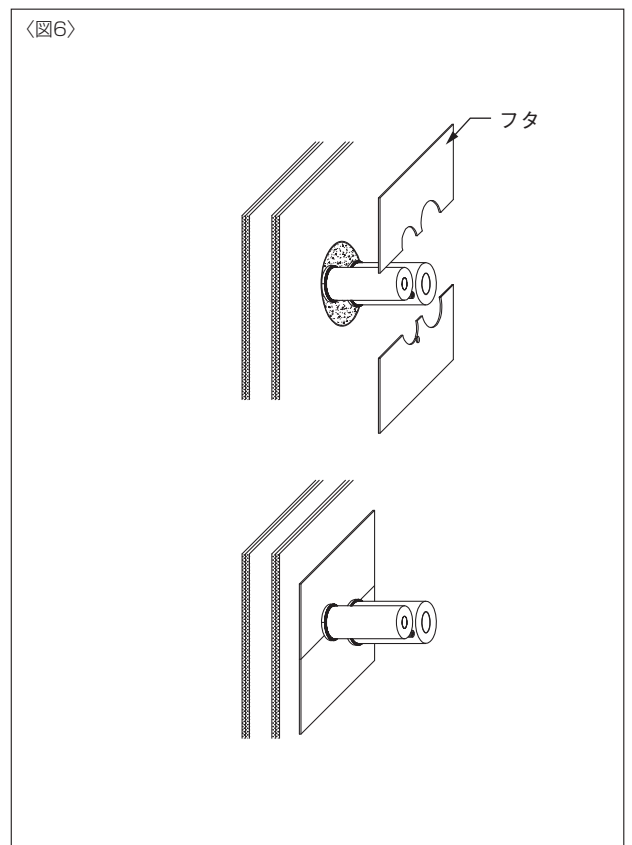
#### 5. ロックウール充てんまたはモルタル埋め戻し

配管・ケーブルと貫通穴のすき間にロックウール(40kg/m<sup>3</sup>以上)を充てんするか、モルタルで埋め戻します。〈図5〉



#### 6. 必要に応じてフタを設置する

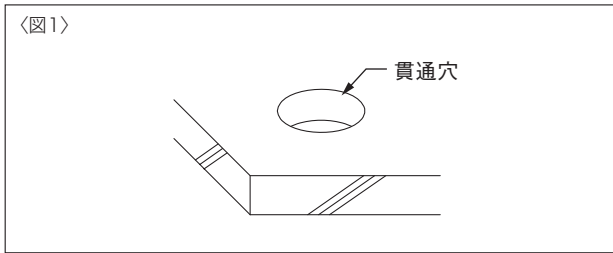
(ロックウールを充てんした場合は基本的に必要) 〈図6〉



## 4. 床 施工手順

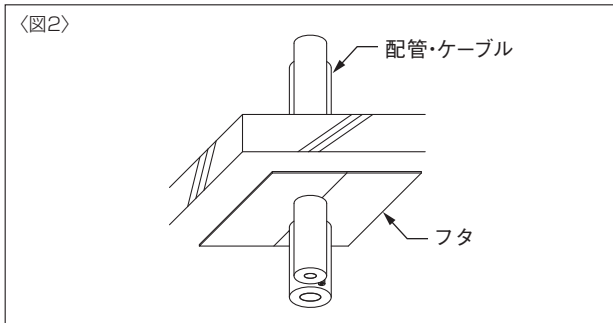
### 1. 貫通穴を設ける

最大開口径を考慮し貫通穴を開けます。〈図1〉



### 2. 配管・ケーブルの設置

配管・ケーブルを設置し、必要に応じて裏面にフタを設置します。(ロックウールを充てんした場合は基本的に必要)〈図2〉



#### フタの寸法および種類

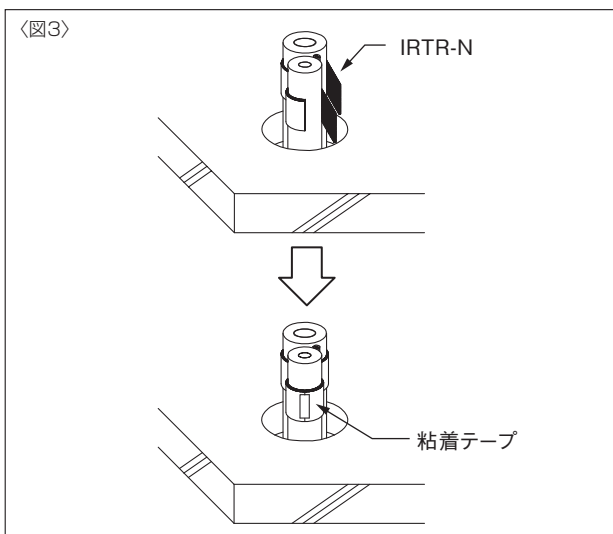
1. 寸法：400 × 400 × 3 (mm)以下

2. 種類：

- |                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| 1) ポリエチレン系樹脂            | 9) クロムめっき銅板                      |
| 2) アクリル系樹脂              | 10) 粘着材付きアルミニウムはく張<br>ポリエチレンフォーム |
| 3) シリコン系樹脂              | 11) 鉄                            |
| 4) 塩化ビニル系樹脂             | 12) アルミニウム                       |
| 5) ポリオレフィン系樹脂           | 13) アルミニウム合金                     |
| 6) 塗装熔融亜鉛めっき銅板          | 14) 銅                            |
| 7) 熔融亜鉛めっき銅板            | 15) ステンレス鋼                       |
| 8) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき銅板 |                                  |

### 3. 耐火テープ冷媒タイプN IRTR-N (以下、IRTR-Nと称す)の巻き付け

各配管・ケーブルにIRTR-Nを一周以上巻き付け(突合せでも、オーバーラップでも可)、粘着テープで固定します。この際ケーブルは配管と共巻きすることができます。〈図3〉



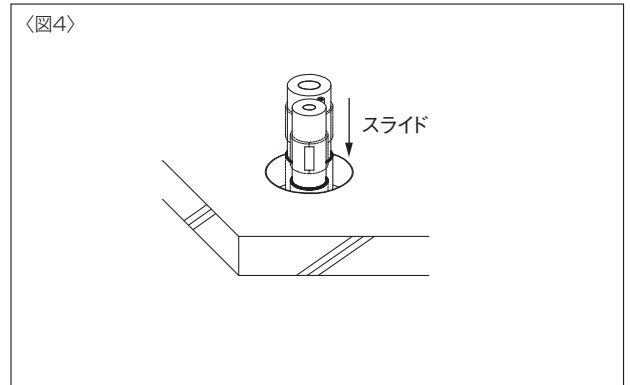
#### 粘着テープ種類

1. 寸法：幅98mm以下、厚さ0.4mm以下

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 2. 種類： 1) 包装用ポリプロピレン粘着テープ | 5) 包装用布粘着テープ         |
| 2) セロハン粘着テープ              | 6) 包装用ポリ塩化ビニル粘着テープ   |
| 3) 紙粘着テープ                 | 7) 電気絶縁用ポリ塩化ビニル粘着テープ |
| 4) 電気絶縁用ポリエステル粘着テープ       | 8) 防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ   |

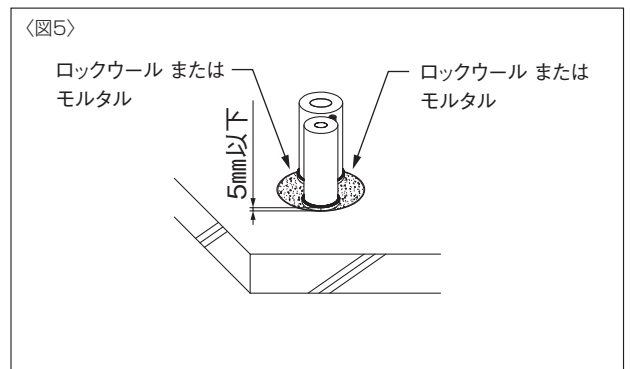
### 4. IRTR-Nの設置

IRTR-Nの施工確認用帯がみえるように床面から5mm以下飛び出すようにスライドさせます。〈図4〉



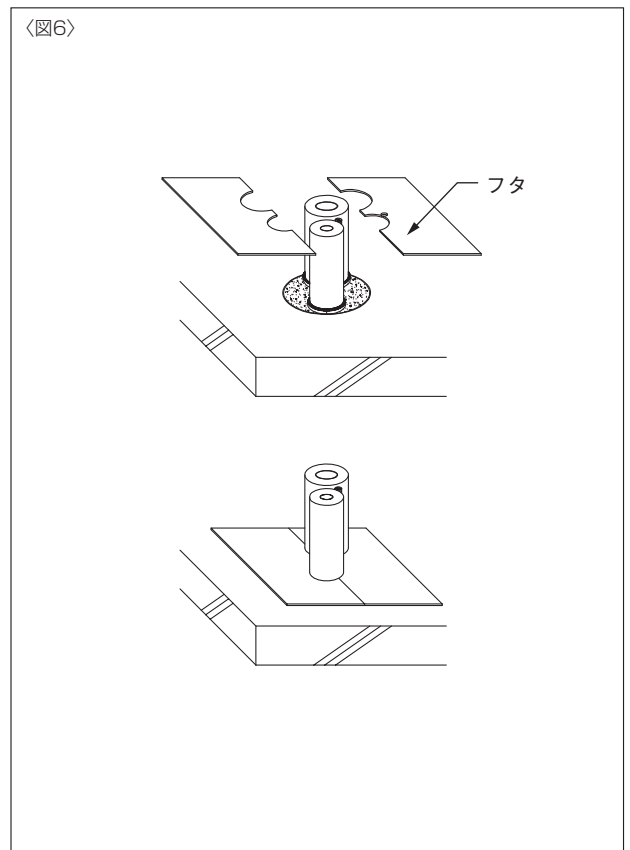
### 5. ロックウール充てんまたはモルタル埋め戻し

配管・ケーブルと貫通穴のすき間にロックウール(40kg/m<sup>3</sup>以上)を充てんするか、モルタルで埋め戻します。〈図5〉



### 6. 必要に応じてフタを設置する

(ロックウールを充てんした場合は基本的に必要)〈図6〉



<https://www.inaba-denko.com>



INABA DENKO  
Webサイト



INABA DENKO  
営業所一覧

